

# 令和元年度第3回宮城野区区民協働まちづくり事業 評価委員会 令和2年度まちづくり活動助成事業計画説明会 議事要旨

日 時：令和2年3月10日(火) 午後6時00分～8時00分

場 所：宮城野区中央市民センター2階 第1会議室

出席者：井上委員長、高畑副委員長、佐藤副委員長、庄司委員、  
有坂委員、葛西委員、まちづくり推進課

## 1 開会

※新型コロナウイルス感染予防による入れ替え制での開催のため、委員長挨拶・評価委員の紹介・概要説明は省略。

## 2 事業計画説明及び質疑応答

### (1) 事業名：貞山運河と新浜の魅力アップ事業

団体名：新浜町内会

#### <質疑・意見>

委 員 この事業の計画や予算案を作る際に意思決定をする方は何名いるか。また、その男女比はどうなっているか。

説明者 事業計画案は役員会で作成している。役員は14名で、うち女性は2名、あとは男性である。

委 員 事業目的である「新規の居住者を増やしていきたい」という点に注目すると、自然という魅力もあるが、その他にも居住者を増やしていくコツがあると思う。たとえば、町内会の皆さんのフレンドリーシップや、行政の居住政策との協働などは居住者が増えるきっかけになるのではないか。それらにプラスして、この事業があると良いのではないかと思う。そうした施策や町内会のフレンドリーシップに関する計画はあるか。

説明者 この事業以外に、岡田の町内会にも協力してもらい、かさ上げ道路の海側にある移転跡地を活用し、町内会のグランドゴルフ場と市民農園として5月頃から整備を始める予定である。また、我々がなぜ橋にこだわっているかということ、橋が復活すれば、新浜の魅力として、サーファー等の海が好きな人たちが戻ってきてくれるかもしれないと考えている。

委 員 この助成事業は3年までの助成であり、それ以降は自立して活動をしてもらうことが目標であるが、自己資金の増やし方、あるいは、3年目以降の活動はどのように考えているか。

説明者 ほんとうは、参加者から協力金という形で、募金などをお願いしたいと思うが、まだまだ仙台市の方が沿岸部には来てもらえないため、呼びかけはするものの募金がなかなか集まらない状況である。今後も、無料で参加してもらいつつ、募金の呼びかけをしていきたい。現時点では有料化することは難しいため、これから研究していきたい。

委 員 近くの企業等から、協賛金などをもらうアイディアはあるのか。

説明者 町内会の運営も企業等から協賛金をもらって行っている。いまは、この事業について協賛金をもらうことを考えてはいないが、沿岸部で事業を行う企業にお願いする等、

これから考えていかなければならないと思う。

<協議結果>

助成事業として採択する。

(2) 事業名：いわきり遊学プロジェクト

団体名：IOC（岩切おもしろ倶楽部）

<質疑・意見>

委員 IOCの最終意思決定は総会だと思うが、総会に提出する事業計画案や予算案を作成する方の人数と男女比を教えてください。また、正会員の男女比も伺いたい。

説明者 計画を作成するのは3名であり、正会員8名による総会で仕上げる形になっている。計画を作成する3名は男性である。また、正会員は、男性7名、女性1名である。

委員 活動内容として3本柱を作られているが、組み立て方や、昨年度と比較しての新規性がどういうところにあるか教えてください。

説明者 活動内容は昨年と同じである。ただ、3年目ということで変えていきたいと考えている。ひとつは、まち歩きについて、岩切は歴史のある地域であるため、地域ごとにまち歩きをしているが、新しく山崎という地域のまち歩きを企画している。また、映画上映会について、これまで「てんびんの唄」の1部と2部を上映してきたが、非常に評判が良く、完結編を見たいとの地域の声があり、来年度が締めくくりとなる。また、寄席は我々の大きな柱であるが、出演者など内容を変える等している。昨年の寄席では子どもに出演してもらったことが非常に良かったので、来年度も形を変えながら大人と子どもに出てもらいたいと考えている。

委員 事業の期待される効果として、「世代間交流の促進がはかれる」と挙げられているが、「おもしろ寄席」はその決定打になるのではないかと思う。ぜひ、企画する段階のところに女性や子どもを入れて、企画を進めていく仕組みを作ってもらいたいと思うが、可能か。

説明者 我々は各種団体との繋がりがあり、行事を決めるにあたって色々と参考にさせてもらっている。たとえば、子ども相手の場合は、学校支援の方、あるいは、防災リーダーの方、この方々も賛助会員に入っているため、色々と相談しながら決めている。また、メンバーには入らないが、協力してくれる人はいる。地域の声を聞きながら、4年目は何か変える必要があると考えている。

<協議結果>

助成事業として採択する。

(3) 事業名：みんなで歩こう、宮城野原

団体名：宮城野原案内人の会

<質疑・意見>

委員 会則に総会の項目がないが、事業計画や予算案はどこで決定しているか。また、事業計画や予算案を作成する方の男女比を教えてください。

説明者 事業計画等については、会員が9名であるため、毎月の定例会で決定している。会員の男女比は男性5名、女性4名である。

委員 マップと冊子をつくるとのことだが、それぞれの対象や使い方、配布先等を教えてください。

説明者 マップについては、3～5年先にストックして使っていこうと考えている。まち歩きをしているとアンケート等で要望が多いため、これから作っていこうと考えている。使い方としては、まち歩きや公開講座、市民センターまつり、みやぎの・まつり、依頼

ガイドの際に配布する予定。冊子については、個々に作っていたガイドブックをまとめて、成果物として残していきたい。配付先は、参加者や会員、町内会、聞き取り等でお世話になった商店の方々、また、学校も対象にしたいと考えている。

委員 いままでの活動をまとめてパネルを作成することだが、みやぎの・まつりで出すパネルも含まれるのか、作成した場合の保管場所、または展示場所を教えてください。また、予算書に小型レコーダーを計上しているが、何に使うものか。

説明者 パネルは、市民センターまつりと、みやぎの・まつりで使う予定である。保管場所については、今のところ宮城野区中央市民センターに預かってもらうが、後々、別の場所に保管して再利用したいと考えている。小型レコーダーは、二十人町や鉄砲町の商店などに聞き取り調査をする際、メモ等をとるようにしているが、正確性を担保したいと思い、レコーダーがあると、聞く人も話す人にとっても良いと考え、予算書に計上した。

<協議結果>

助成事業として採択する。

(4) 事業名：東仙台・まちの耀きを発見し、コミュニティーを活発化させるプロジェクト  
団体名：東仙台耀き歴史クラブ

<質疑・意見>

委員 総会で最終意思決定をされると思うが、総会に提出する事業計画や予算案を作成する方の人数と男女比を教えてください。また、会員の男女比も伺いたい。

説明者 会長・副会長・庶務の3名で原案を作り、それを会員に提案し検討してもらう形となる。役員は3名とも男性である。会員8名のうち、男性が6名、女性が2名である。

委員 まち歩きの各コースは平均何名ほど参加されているのか。

説明者 20～30名の間である。

委員 出発点は地元学だと思うが、地元学を重視するのであれば、ハンドブックよりも生の地元の方の声を重視したほうが良いのではないかと思う。そのあたりの工夫について何か考えはあるか。

説明者 地元の方の声を聞くことを全然やっていないわけではない。まち歩きをしていると、地元の方から「ここが湯豆腐の店だった」と教えてもらうこともある。新田で土建業を営む方に地蔵殿に関する参加者からの質問に答えてもらったこともある。また、家の敷地内に地蔵殿がある人からお話を聞くなど、会員からの説明だけではなく、地域の方々の声も拾っていきたいと思う。今後はより計画的にそうした機会を作っていく必要があると思う。

<協議結果>

助成事業として採択する。

(5) 事業名：新浜『食』・『農』体験学校  
団体名：宮城野親子で料理プロジェクト

<質疑・意見>

委員 会則を読んだところ、総会の項目がないが、どこで意思決定をしているのか。

説明者 これまでは代表者が中心となって活動してきたため、意思決定の場らしいものはなかったが、今後団体を大きくしていくためには問題があると思うため、会則も含めて直していきたいと考えている。なお、意思決定については、団体で2カ月に1回ほど集まる機会に、代表者が提案したことを話し合い、皆さんにご協力いただくという体制である。

- 委員 核となる役員は何名であるか。また、その男女比を教えてください。
- 説明者 役員は9名で、男性5名、女性4名である。
- 委員 他の助成金として宮城県共同募金会の名前が挙がっているが、収支予算には記載がなく、どうなっているのか聞きたい。また、監査や総会などで予算について皆さんの了解をとっているのか伺いたい。
- 説明者 宮城県共同募金会については、宮城野区まちづくり活動助成事業の中では対象外になっているものを補うために申請をしているが、昨年以降は申請が通っていない。こちらは不足した場合に申請する予定である。また、予算に関する意思決定については、今までは代表者が全部やっている形であったが、今後は他の役員に事務を担当してもらい、意思決定の場で会員の皆さんに報告し、了承をいただいて活動していきたい。
- 委員 予算書に記載されているポスターやチラシについて、予定されている配布先と配布枚数を教えてください。
- 説明者 チラシは宮城野区内の近隣小学校8校に8,000部配布し、学校から生徒向けに配布してもらおうようお願いしている。ポスター（A4サイズ）は各市民センターや行政サービスセンター、その他ショッピングモール等に貼ってもらえるところにお渡しする予定である。

<協議結果>

助成事業として採択する。

**(6) 事業名：仙台蒲生日和山プロジェクト**

**団体名：中野ふるさとYAMA学校**

<質疑・意見>

- 委員 会員は13名とのことだが、事業計画や予算案を作成する役員は何名か。また、役員及び会員の男女比を教えてください。
- 説明者 役員は4名であり、男性3名、女性1名である。会員については、半々ぐらいの割合である。なお、事業計画や予算案は定例会において全員で協議して決定している。
- 委員 予算案について、収入の8割を助成金が占めており、助成金頼りになっていると思われるが、今後の資金調達はどのように考えているか。
- 説明者 活動を継続していくために、今後は企業に協力いただくとか、ボランティアを募るなどして、資金を集めるよう形を作っていくたい。今年度も5万円ほどは集めたが、継続していけばもう少し集めることができると思う。

<協議結果>

助成事業として採択する。

**(7) 事業名：X橋と駅東の歴史文化の伝承・共有プロジェクト**

**団体名：X橋保存会**

<質疑・意見>

- 委員 意思決定の場は総会だと思うが、総会に提出する事業計画や予算案を作成した方は何名か、また、その男女比を教えてください。
- 説明者 役員は6名であり、その6名で企画立案し、会計も担当している。男女比については、役員の中に女性は入っていない。
- 委員 会員は57名いるとのことだが、会費はいくらになっているか。
- 説明者 会費は集めていない。全体の会計については、寄付金でまかなっている。
- 委員 皆さんがこの活動からどんなことを期待しているのか。たとえば、この活動に触れることで、どんな人がどのような気持ちになり、やがてどういうアクションを起こして

ほしいのか。

説明者 これからの3年間の予定として、モニュメントもできるし、1-2号公園内にイベント広場も作る予定である。そうした場所で、宮城県や山形県などの色んな団体と交流する等、X橋をキーワードにしたイベントを仕掛けていきたい。また、X橋は負の歴史の積み重ねであるが、新しいX橋として、色々なものをつくっていききたいと考えている。

<協議結果>

助成事業として採択する。

### (8) 事業名：(仮称)宮城野通等の空間活用事業

団体名：仙台駅東まちづくり協議会

<質疑・意見>

委員 先ほど会員38名の写真を見せてもらったが、女性の会員は1名で間違いないか。また、総会で事業計画や予算案を提示すると思うが、提示する理事の方は10名で間違いないか。加えて、理事10名の男女比を伺いたい。

説明者 現在のところ、会員のうち女性は1名である。理事は10名であり、男性9名、女性1名である。なお、協議会に企業として入っている方もいる。

委員 企業からは常に同じ人が参加してくるわけではないということか。その場合、企業の一任を受けて参加するということが良いか。

説明者 そのとおりである。

委員 協議会の会員を見ると、潤沢に資金を調達できるのではないかと思う。3年間この助成事業を利用することは可能だが、初年度だけの申請か、または、3年間利用を考えているのか。

説明者 当協議会は昨年8月にできたばかりで、現在は会費収入でまかなっているが、まだまだ潤沢に会費がある状況にはなっていない。今後は公共空間を活用した出店料などを収入として運営資金としていきたいと考えているが、まだそういった状況にはないため、今回の助成事業を一助とさせていただきたいと考えている。

委員 キッチンカーの企画について、たとえば宮城野区で歴史のある商店を誘致するなど、出店者は宮城野区に特化するなどの考えはあるのか。それとも、仙台市、または宮城県内から賛同する方を集めるというイメージか。

説明者 宮城野区の方に来店していただくことがベストだと思うが、宮城野区と限定してしまうと、キッチンカーをお持ちの方がだいぶ少なくなってしまうため、今のところ、宮城県キッチンカー協会に店を出していただける方の協力をお願いしている。まずは、宮城県内に広くお声がけしていきたいと考えているが、できれば、宮城野区の仙台駅東エリアにお店をお持ちの方の出店もお願いできればと考えている。

委員 主な助成申請額は広報費のみとなっているが、チラシやポスターの配布先や枚数などを教えてもらいたい。

説明者 広報活動としては、のぼり旗なども広報の一環だと考えているため、そういったものに活用させていただきたいと思う。チラシ部数については現在検討中である。配付先としては、協議会の会員のお店やJR駅構内、ホームページでの公開も考えている。また、区役所にも協力いただき、地下鉄構内にも設置をお願いしたいと考えている。

<協議結果>

助成事業として採択する。

## 3 閉会